

# 阿賀に生きる

## 阿賀野川遡上計画

### — 津島屋上映会 —

日時 2014年4月13日 日曜日  
午後13時30分 開場  
午後14時00分 上映  
午後16時00分 ゲストトーク

会場 津島屋会館  
(新潟市東区津島屋3丁目)

問い合わせ先  
080-3142-1684 (平岩)  
aganogawa210@gmail.com

映画史に残る傑作『阿賀に生きる』が、いま未来を問いかける。

『阿賀に生きる』はドキュメンタリー映画の開拓者、佐藤真の初監督作品です。1992年当時、映画館でドキュメンタリー映画がロードショーで上映されることがなかった時代、異例ともいえるロードショー公開がなされ、第24回スイス・ニヨン国際ドキュメンタリー映画祭で銀賞ほか4賞受賞、山形国際ドキュメンタリー映画祭優秀賞受賞、フランス・ベルフォール映画祭最優秀ドキュメンタリー賞、サンダンス・フィルム・フェスティバル IN TOKYO グランプリ受賞など、名だたるドキュメンタリー映画祭で最高賞を次々獲得。

新潟水俣病という社会的なテーマを根底に据えながらも、そこからはみ出す人間の命の賛歌をまるごと収め、世界中に大きな感動を与えました。

映画の主演は3組の老夫婦。かつては鮭漁の名人で田んぼを守り続ける長谷川芳男さんとミヤエさん、200隻以上の川舟を造ってきた誇り高き舟大工・遠藤武さんとミキさん、餅つき職人で仲よし夫婦の加藤作二さんとキソさん。佐藤監督ら7人のスタッフは、3年にわたり川の流域に住み込み、田植えを手伝い、酒を呑みかわし、阿賀の人々の暮らしに寄り添って撮影しました。

生きる喜びに溢れた豊かな暮らしが映し撮られた生の記録は、全国から支持を得て1400人余りのカンパを集めて完成。日本全国で上映され、自らの人生と風土を見直す賛辞がうずまき一大ブームを巻き起こしました。

封切から20年が経ち、この映画を未来に残したいと再び募金が集まりました。そして『阿賀に生きる』は時を超えて16ミリニュープリントで21世紀に甦ったのです。自然とともに生きる人間の力強さを描いた本作は、いま未来への一筋の光を指し示すでしょう。

(映画『阿賀に生きる』公式サイトより参照 <http://kasamafilm.com/aga/> )

## 阿賀野川遡上計画 ～鮭のように、母なる川を遡らせたい～

『阿賀に生きる』は阿賀野川で生まれ、全国へ旅立った映画です。その旅は今もなお続き、その先々で多くの人の心を動かしています。この素晴らしい新潟の宝物のような映画を、鮭のように母なる川を遡らせたい。そう思い『阿賀野川遡上計画』を立ち上げました。そして、映画の発起人である旗野秀人さんや映画に携わった多くの方々から多大なるご協力・ご支援頂き、2013年9月16日に阿賀野川河口の街である新潟市北区松浜からスタートしました。

この映画がまた阿賀野川流域に新たな奇跡を起こしてくれることを願いながら、ゆっくり遡上していきます。

なお、この先上映会では『映画+“何か”』を計画しています。阿賀野川の文化、歴史、恵みに触れられるイベント等も考えています。何度来ても新しい気づきと出会いがある上映会にしたいと思っています。会場でお会いできることをとても楽しみにしております。(文・阿賀野川遡上計画代表 平岩史行)

## わたしたちのその他の活動紹介 (一部)

### ■ 新潟水俣病 安田患者の会との交流

映画の発起人である旗野秀人さんが事務局を務められる安田患者の会と、お花見や阿賀野市安田公民会で開催される追悼集会(毎年5月4日)や望年会の場で親睦を深めています。昨年の望年会では餅を振る舞いました。この餅は、映画に出演されている餅屋の加藤作二さんの臼でついた餅です。映画完成後に急逝された加藤さんの臼を21年ぶりに復活させての餅つきになりました。今後も、旗野さんが良く口に出される「(新潟水俣病患者さんから)生きていて良かったと言ってもらえるような楽しい活動をしたい」という思いに共感し、喜んでもらえる活動をしながら親睦を深めていきます。

### ■ 阿賀野川スタディツアー

阿賀野川の歴史、暮らし、人々の思いなどの『阿賀野川の心』に触れるツアーを行いたい。そんな思いで今年3月15日に第一回目を開催致しました。来年で新潟水俣病発生から50年ということもあり、阿賀野川にとって、悲しく、辛い歴史も学びつつ、素晴らしい部分にも触れられるツアーにしたいと思っています。川魚を食べる企画も検討しています。

### ■ 阿賀野川流域を飛び出しての寄り道上映会

阿賀野川遡上計画とは別に、この映画を広く見てほしいという思いから、流域を飛び出しての上映会も行っています。昨年は三条市で上映致しました。また、県内で同映画が上映される際は会場設営等の手伝いも行っています。

現在、他団体様と共同で上映会を企画しております。ご期待ください。

最後に、わたしたちの活動に興味がある方、上映会の開催を希望される方、今後のイベントに興味がある方は平岩までご連絡ください。お待ちしております。



## 津島屋会館までの交通手段

会場に駐車場はございません。  
公共交通機関(バス)のご利用をお願い致します。

### <バス情報>

新潟交通 津島屋線(系統番号 750)  
始発地 万代シティバスセンター(出発番線①)  
出発時間 13時15分(午後1時15分)  
降車地 津島屋三丁目  
主な経由地 新潟中央郵便局、東区役所、イオン新潟東店  
始発地から乗車した場合の片道料金 400円

なお、新潟駅および大形駅からの送迎も予定しております。  
バス以外の交通手段を利用されたい方は、  
前日までに平岩まで連絡して頂けると幸いです。

